

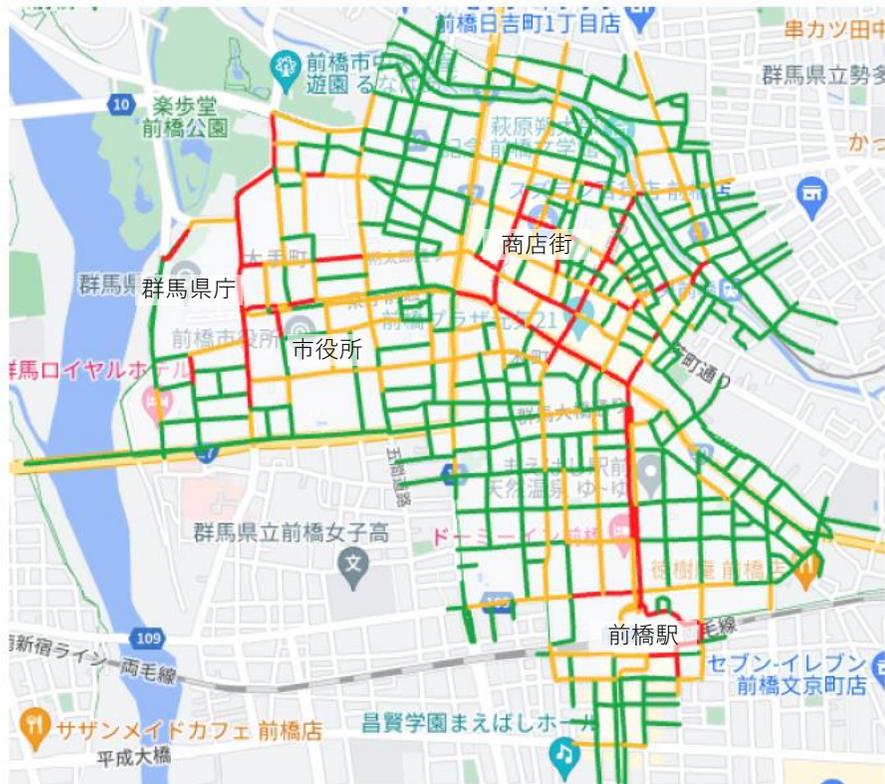
KDDI Location Analyzerの通行人口分析を用い、前橋市中心市街地内の通行量分析を実施した結果は以下の通り。

（通行者の集計対象は、2023年の1年間にエリア内でログが取得されたユーザー）

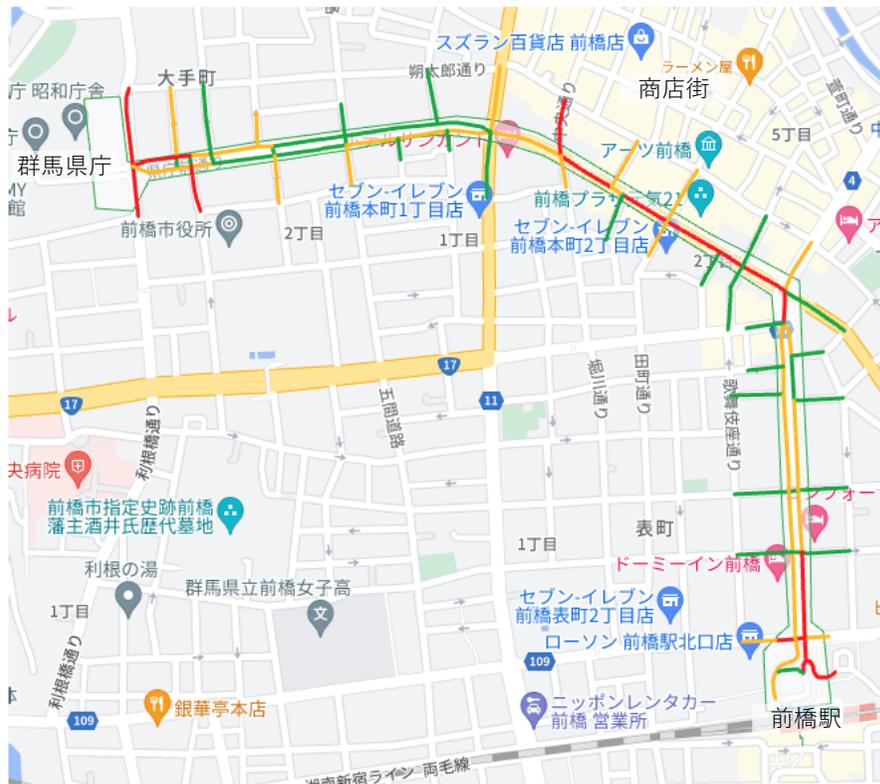
着色が赤色に近いほど、通行量が多く、緑色に近いほど、通行量が少ないことを現す。

- 中心市街地全体では、県庁、市役所、商店街、前橋駅など各施設の周辺で通行量が多い。
- メインストリートにフォーカスすると、各施設周辺の通行量が多いが、それぞれを結んでいる道路については、相対的に通行量が少なく、各施設間の回遊性に課題がある。

徒歩（全域）



徒歩（メインストリート）

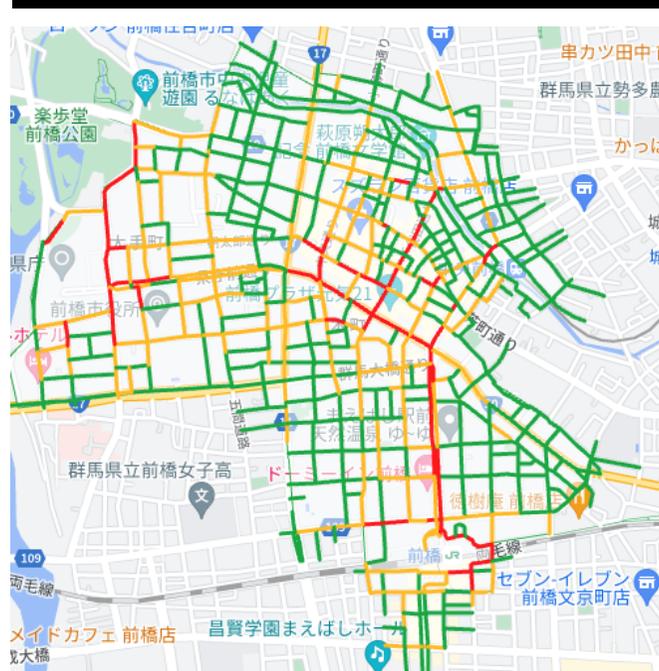


- 年代別に分析を行った結果、県庁・前橋公園周辺、商店街周辺、前橋駅周辺では、年代を問わず通行量が多い。
- 20代～50代では、前橋駅～商店街への通行量は多いが、60代以上では通行量が少ない。
- いずれの年代でも、県庁・市役所前の近くでは通行が多いが、そこから商店街方面に向かう通行量は少ない。
- 駅前の通りでは、両側の歩道のうち、片側に歩行者通行が偏っていることが分かる。

歩行者分析 20代～30代



歩行者分析 40代～50代



歩行者分析 60代以上

